

# 平成24年度 在宅医療連携拠点事業の報告

ひらつか在宅医療連携拠点事業所  
医療法人救友会 湘南真田クリニック



# 平塚市は在宅医療・介護の先進地

## ●平塚市の取り組み

- ・ひらつか ほほえみ福寿プラン（平塚市高齢者福祉計画）
- ・地域包括支援センター：8か所
- ・社会福祉協議会/ひらつか地域介護システム会議

## ●平塚市医師会

- ・平成13年度～平成18年度  
湘南西地区医療圏 在宅医療連携推進事業
- ・三師会在宅医療連絡協議会
- ・「平塚の在宅ケアを考える会」（在宅医療担当理事）

## ●在宅医療・介護に係る医療・介護事業所：588事業所

## ●取り組みの前提となる認識

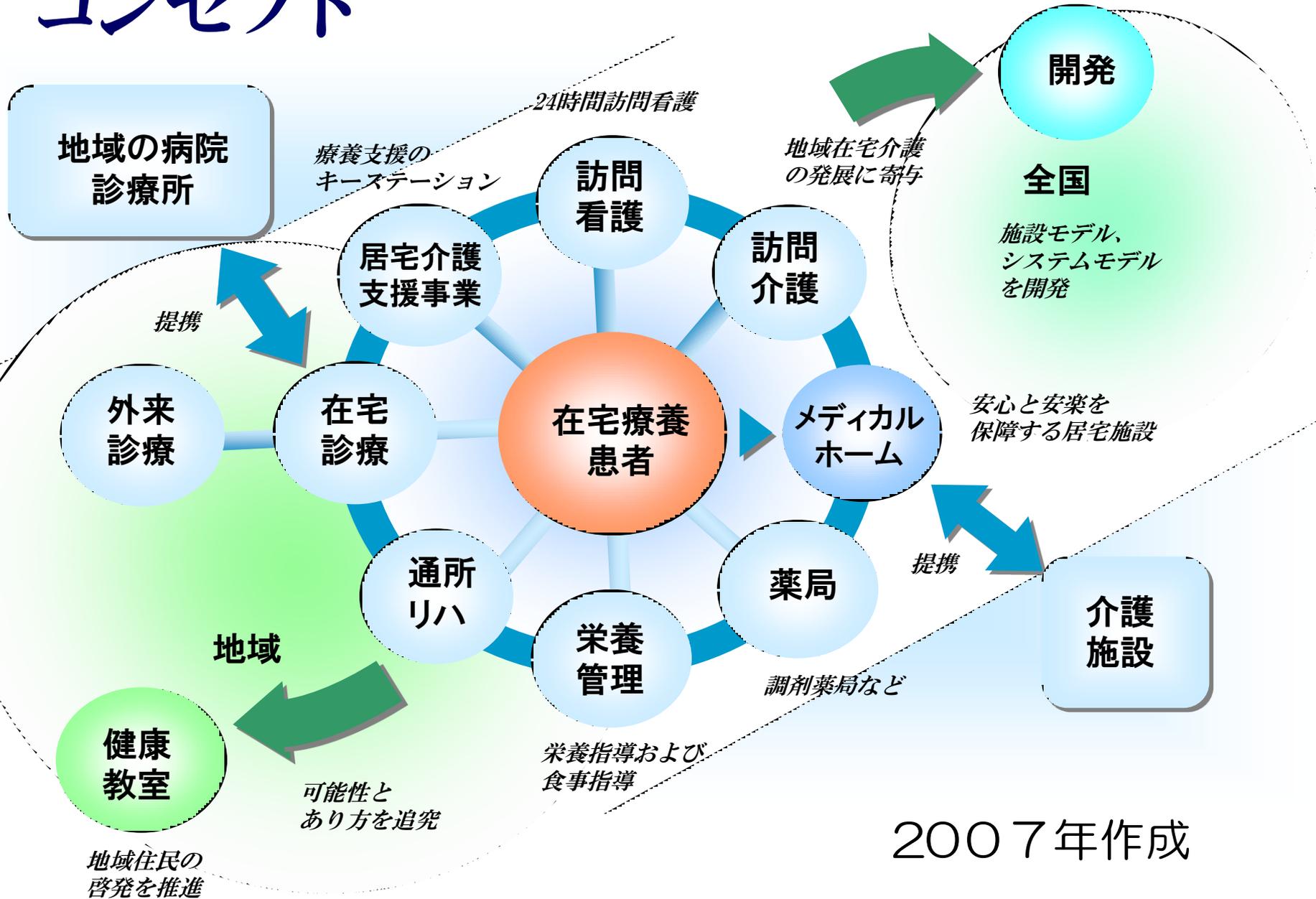
- ・市行政、三師会、看護介護団体は活発に事業を展開。
- ・個々の事業所が個別に連携している。

# ひらつか在宅医療連携拠点事業所

## 湘南メディケアグループ

- 基金拠出型医療法人（救友会）  
地域の熱意と善意により設立
- 医療・介護・暮らしの複合事業体

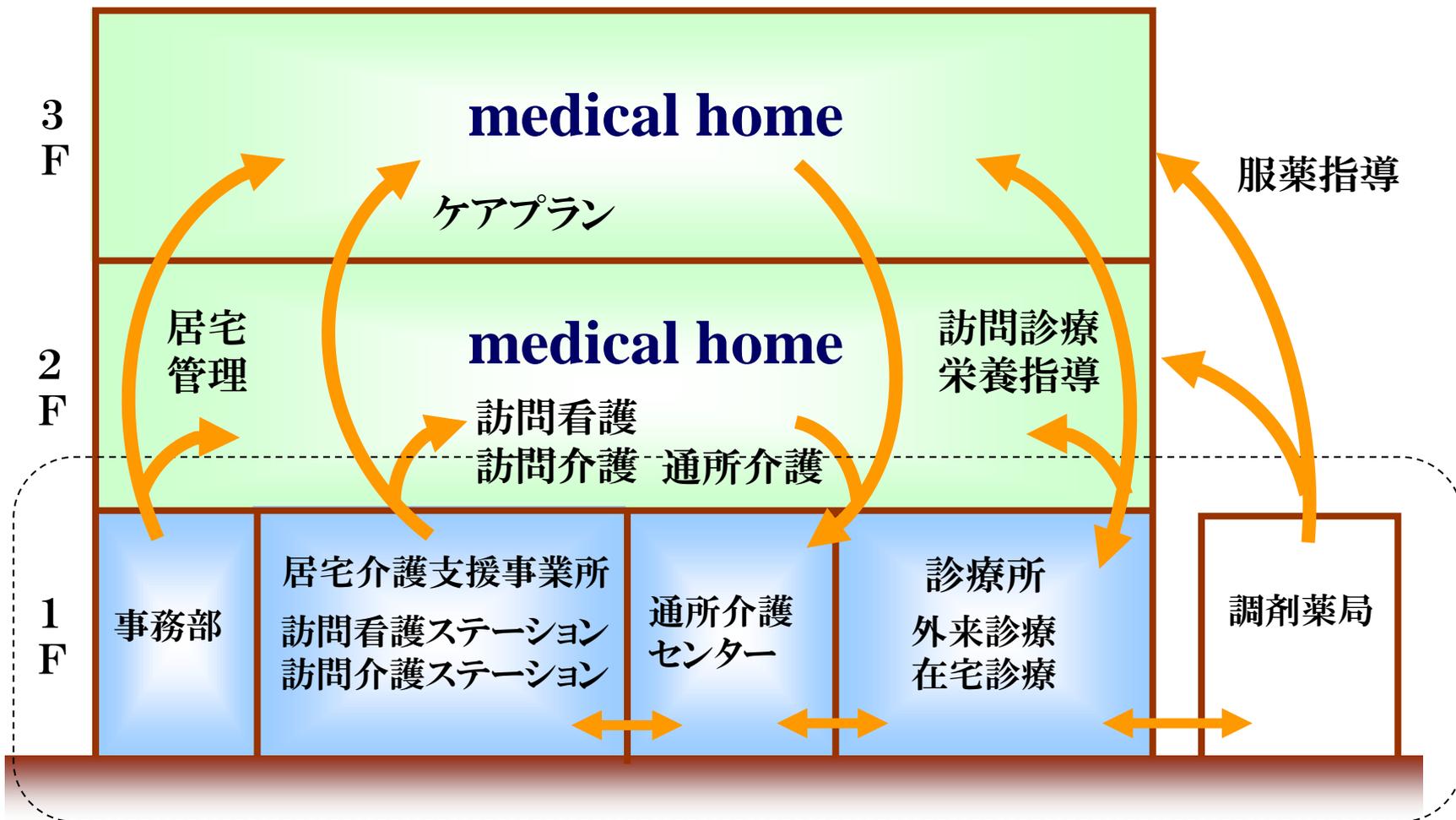
# コンセプト



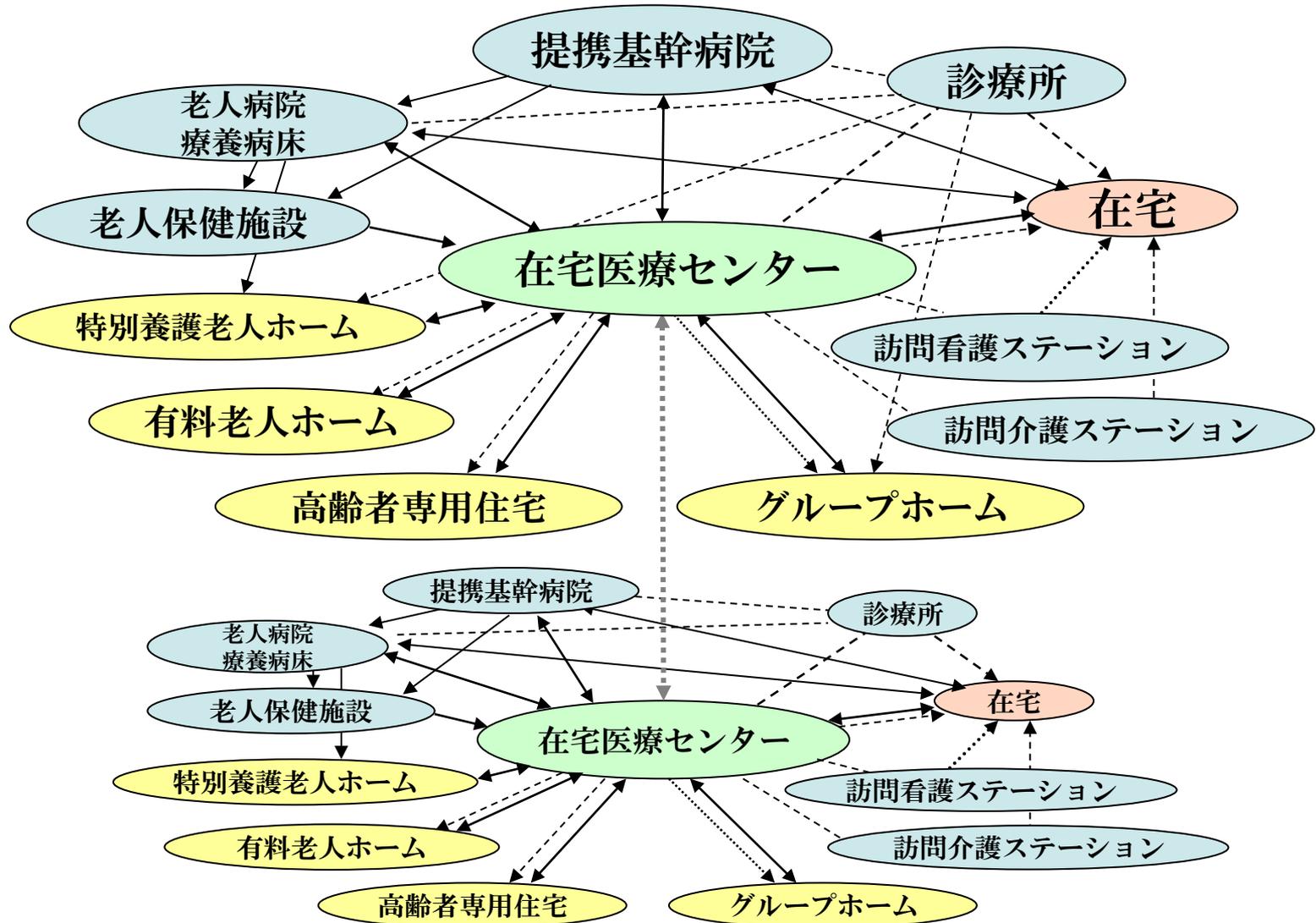
2007年作成

# ◆ メディ・ケアセンターの発想

2007年作成



# 構想～高齢者サポートシステム 医療と介護の地域ネットワーク



# 湘南真田メディケアセンター 在宅医療/療養支援のロールモデル



2009年2月1日開設



# 湘南メディケアグループの事業(月次)

## ●湘南真田クリニック

外来 1,200名、訪問診療 350 件

●SMC訪問看護ステーション 450 件

●SMCケアステーション 1,200 件

●SMC居宅介護支援事業所 60 名

●通所介護 湘南メディケアガーデン 300 件

●メディカルホーム メディトピア真田

2009年度～ 入居者85人 看取り 30人

# 連携施設・事業所 (2009年2月～2012年3月)

急性期病院	10施設	訪問マッサージ	3事業所
亜急性・慢性期病院	5施設	薬局	16事業所
診療所	10施設	訪問介護ステーション	13事業所
歯科診療所	1施設	通所介護	10事業所
地域包括支援センター	7事業所	地域栄養事業所	1事業所
居宅介護支援事業所	27箇所	介護老人保健施設	5施設
訪問看護ステーション	10事業所	有料老人ホーム	4施設
通所リハビリテーション	5事業所	グループホーム	1施設
訪問リハビリテーション	2事業所	計	130施設・事業所

# ひらつか連携拠点事業所のスタンス

---

- 平塚市・三師会・包括・地域介護システム会議等の成果の上に、連携拠点事業を活用していただく。
- 連携拠点を軸とした外延的な拡張ではなく、平塚市全体の在宅医療・介護の向上に資する。
- 医師会（三師会）にイニシアティブを求め、連携拠点事業所は黒子に徹する。
- 徹底した説明と協議を実施する。

# 連携拠点事業所の最大の努力

## ●説明と協議 2012年8月～2013年2月

- 平塚市福祉部（高齢福祉課・介護保険課）  
平塚市消防本部
- 平塚市社会福祉協議会
- 平塚市医師会、平塚歯科医師会  
平塚中郡薬剤師会、三師会連絡協議会
- 包括支援センター管理者会議、
- ひらつか地域介護システム会議居宅介護支援連絡会
- ひらつか地域介護システム会議サービス向上検討部会
- 民生委員代表者会議
- 地域自治会等

# 在宅医療・介護資源に関する アンケート調査

## ●実施主体

平塚市医師会・平塚歯科医師会  
平塚中郡薬剤師会・平塚市福祉部  
ひらつか在宅医療連携拠点事業所

## ●調査目的

平塚市域における在宅医療・介護の事業所  
施設の現状分析

## ●回答率

69%（588事業所のうち404事業所）

# 結果（概要）

- 医療機関・薬局は訪問サービスを行う事業所の絶対数が少ない。
- 訪問看護事業所は、悪性腫瘍末期以外の病態に対応可能な事業所が限られている。
- 介護施設・事業所は、医療処置が必要な利用者や、認知症以外の病態をもつ利用者の受け入れが限られている。
- 特に、胃瘻や気管切開などの利用者の受入れ施設・事業所が少ない。
- ★ 医療・介護資源の充実が必要である。



# 在宅医療・介護・福祉を考える多職種フォーラム

神奈川県  
神奈川県医師会  
神奈川県病院協会  
神奈川県看護協会  
平塚市  
平塚市社会福祉協議会  
平塚市医師会  
平塚歯科医師会  
平塚中郡薬剤師会

2013年2月9日





## 第1回在宅ケア介護従事者のための救命講習 2013. 2.22



在宅医療と救急医療との連携を求めて

# 在宅ケア連携ファイル/ノートの作成

(現在進行中)

- 各地の「連携ノート」を参考
- すべての居宅介護支援事業所を通して、出来るだけ多くの在宅療養者に届ける！
- 市、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、訪問看護のメンバーで作成し、7000部を配布(予定)
- 来年度、検証(予定)

# 平成24年度の目標と到達点

- 目標：平塚市の在宅医療・介護の連携強化  
行政、医師会・歯科医師会・薬剤師会、  
介護保険事業所、市民が一つになる
  - 到達点：多職種フォーラム（2013年2月9日）  
行政・立法、医療・介護・福祉従事者、  
市民が結集
- ➡ 市域レベルの事業展開が可能になる

# 結 語

- 在宅医療・介護の多職種連携は、基礎自治体と医師会（三師会）が軸となり、看護介護事業所・団体が協働して取り組む地域創り（「地場産業」）である。
- 在宅医療連携拠点事業は、潤滑剤として地域創りに貢献することができる。
- 今後、市レベルの事業が期待できる。